

令和元年度 多摩川河口の野鳥観察会 第2回

日時：2019年11月23日(土) 9:00~12:00

場所：川崎市環境総合研究所 大会議室(川崎市川崎区殿町3-25-13)
多摩川河川敷

対象：小学生以上

参加者：15名(子供4名、大人11名)

講師：江良 弘光氏(サイエンティフィックイラストレータ)
小林 範和氏(鶴見川流域ネットワーク)

スケジュール：

時間	内容
8:45	受付開始
9:00	開講・あいさつ 講師スタッフ紹介
9:10	講義 ・野鳥観察の予備知識
9:40	双眼鏡の正しい使用方法についての説明・練習 【大人】室内から野鳥観察 【子供】野鳥の缶バッジづくり
10:45	閉会あいさつ
11:05	解散

内容：

●準備

参加者の服装・装備(○は貸出あり)

双眼鏡○、防寒着、動きやすい服、スニーカーなど歩きやすい靴

●講義

講師から干潟の干満のメカニズム、生態系の特徴、干潟に暮らす生きもの、干潟の水質浄化の仕組みなどについてパワーポイントを用いて干潟についての講義が行われ、次に多摩川河口でよく見られる野鳥の特徴について紹介があった。

●室内からの観察・缶バッジづくり(雨天プログラム)

当日は雨だったため、雨天プログラムを行った。講義後、会議室の最後列に移動し、双眼鏡の使い方の説明を受け、練習をした。大人だけの組は室内から河口や干潟に来る野鳥を観察し、子供連れの組は会議室で野鳥の塗り絵をしたのち缶バッジにした。最後に、会議室で観察できた野鳥についてまとめの話があった。

今回観察した生きもの

全19種類

カモの仲間	3種類(スズガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ)
カイツブリの仲間	1種類(カンムリカイツブリ)
ウの仲間	1種類(カワウ)
サギの仲間	2種類(アオサギ、ダイサギ)
カモメの仲間	3種類(ユリカモメ、セグロカモメ、ウミネコ)
タカの仲間	1種類(トビ)
スズメの仲間	6種類(スズメ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ムクドリ、ヒヨドリ)
その他	2種類(オオバン、キジバト)



<参加者の感想> (一部抜粋)

- ・色々な鳥の缶バッジを作ったのが楽しかった。(子ども)
- ・雨のため外に行けなくて、残念でした。(子ども)
- ・雨のため室外での観察ができなかったが、特別のプログラムを親子で楽しんでいました。今度は室外で鳥さんたちの様子をぜひ観察したいと考えています。(大人)
- ・貴重な体験(野鳥を観察する)が出来て良かったです。自分の住んでいる近くの自然を感じる事が出来たので良かったです。(大人)
- ・専門家の方の説明を聞きながらなので、学びながら観察できた。双眼鏡の使い方を初めて知りました。(大人)